

東京駅前常盤橋プロジェクト A 棟建設資金を用途とする 「三菱地所グリーンボンド」発行のお知らせ(2) 発行年限 5 年、発行額 100 億円を予定

三菱地所株式会社（以下、当社）は、2018年5月18日に発表した三菱地所グリーンボンドの発行年限を5年、発行額を100億円に決定しました。また、本グリーンボンド発行に関して、株式会社格付情報投資センター（以下、R&I）より「R&I グリーンボンドアセスメント^{※1}」の最上位評価である「GA1」の予備評価を取得したこと、及び環境省の「平成30年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例」に選定され「グリーンボンドガイドライン 2017年版^{※2}」に適合していることが確認されたことを受け、本日6月12日に社債の訂正発行登録書を関東財務局に提出しましたことをお知らせします。

※1 グリーンボンドで調達された資金が環境問題の解決に資する事業に投資される程度に対する R&I の意見。

※2 グリーンボンド原則との整合性に配慮しつつ、市場関係者の実務担当者がグリーンボンドに対する具体的対応を検討する際に参考とし得る、具体的対応の例や我が国の特性に即した解釈を示すことで、グリーンボンドを国内でさらに普及させることを目的に、環境省が平成29年3月に策定・公表したガイドライン。

1. 本発行の目的及び背景

当社の ESG^{※3} への積極的な取り組みを幅広いステークホルダーの皆様により一層認知頂くべく、「グリーンボンド」を発行することと致しました。総合不動産会社によるグリーンボンドの発行は国内初となります。

※3 Environment（環境）、Social（社会）、Governance（企業統治）の頭文字を合わせた言葉。

2. 本発行の概要

発行年限	5年
発行額	100億円予定
条件決定日	2018年6月20日予定
資金用途	「東京駅前常盤橋プロジェクト」A棟建設に関連する支出に充当予定
主幹事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社
Green Bond Structuring Agent ^{※4}	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
セカンドオピニオン	グリーンボンドとしての適格性については、2018年5月18日付で第三者評価として、ESG評価会社である Sustainalytics（サステナリティクス）よりセカンドオピニオンを取得しており、本日6月12日付で日本語版のオピニオンが同社よりリリースされております。 https://www.sustainalytics.com/green-social-bond-services/
グリーンボンドアセスメント	R&Iによる「R&Iグリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」の予備評価取得済です。 https://www.r-i.co.jp/rating/products/green_bond/index.html
平成30年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例	環境省の「平成30年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例」に選定され、本日6月12日付でグリーンボンドガイドラインとの適合性が環境省および確認機関（イー・アンド・イーズリソリューションズ株式会社と株式会社日本格付研究所が実施）により確認されたとの公表がなされました。 http://www.env.go.jp/press/105548.html

※4 グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。